

電子・自動車部品向け新規耐熱性ポリアミド

<ジェネスタ>の事業展開について

1. <ジェネスタ>とは

当社独自の技術により製造されるノナンジアミンとテレフタル酸から得られる新規耐熱性ポリアミド。PA6T（耐熱性ポリアミド）、PPS（ポリフェニレンスルフィド）、LCP（液晶ポリマー）などと並ぶエンジニアリングプラスチック（高機能性樹脂）で、耐熱性に加え、低吸水性、耐薬品性、耐摩耗性等の性能バランスに優れています。

2. 技術的特長

<ジェネスタ>のモノマー（原料）であるノナンジアミンは、当社が世界で初めて工業生産を行う新規なジアミンで、炭素数9個の化学構造から成り立っています。当社は安価な石油化学原料であるブタジエンを出発物質として独自の合成技術により、耐熱性と低吸水性の最もバランスの良い炭素数9個の構造を持つ樹脂の開発・事業化を進めてきました。

この度、ノナンジアミンを生産する合成技術と、樹脂を製造する高分子技術、さらにエンジニアリングプラスチック用途に展開するコンパウンド並びに成形技術を結集し、<ジェネスタ>生産の技術的基盤を創り上げました。

| | | |
|-------|---------|---------|
| ブタジエン | ノナンジアミン | <ジェネスタ> |
|-------|---------|---------|

3. 用途

(1) 耐熱性と寸法安定性が要求される電子部品分野

主としてパソコンや携帯電話に使用されるSMT（表面実装）コネクタ、SMTスイッチ、SMTリレー、立体回路部品、ボビン等

(2) 耐熱性と耐薬品性が要求される自動車部品分野（特にエンジン回り部品）

エンジン本体部品、エンジン吸気系部品、エンジン冷却系部品で可能性を追求中

4. 主な商品特長

(1) 電子部品分野

- ・耐熱性（実使用条件でのハンダ耐熱性）

従来素材に比べ最も高い耐熱温度290（従来素材は250～260）

- ・低吸水性による寸法安定性

(2) 自動車部品分野

- ・耐熱劣化性

高温下でも<ジェネスタ>は耐熱劣化性に優れています。

- ・耐薬品性
ガソリン、エンジンオイル、アルコール、酸、アルカリ、熱水等の耐薬品性に優れています。
- ・軽量性
- ・耐摩耗性
- ・耐擦れ性

5. 事業計画

セミコマーシャル設備

生産能力：年産 約 1,000トン

立 地：モノマー（原料） 鹿島工場（茨城県鹿島郡）

ポリマー（樹脂） 西条工場（愛媛県西条市）

設備投資額：約 10 億円

稼働時期：99年5月

次期計画：2000年に約10億円の追加投資を行い、生産能力を年産約3,000トンに増強

販売構想：電子部品分野の市場開発が先行しているが、2～3年後には自動車部品分野へも進出する。

価 格：1,200～1,500円/kg

販売目標：1999年度 13億円

2001年度 30億円